

第 5 章

農 業

第5章 農業

概況

大阪府の農業は、都市近郊の立地を活かした施設園芸などにより集約的な農業経営が生まれ、府民へ新鮮な農産物を提供している。特に、しゅんぎく、つけななどの軟弱野菜やぶどうなどの果樹の栽培が盛んで、全国でも有数の産地となっている。

農地面積は、市街化の進展により減少を続けており、府内全域に占める割合は8.2%となっている。

また農地は、その約30%が都市計画法上の市街化区域内に存在しており、農産物の生産基盤であるとともに府民にとって貴重な自然源であり、快適な環境を創造するための極めて重要な自然資源となっている。

農家数

平成12年2月1日現在で実施された2000年世界農林業センサスの結果によると、大阪府の農家数は2万9801戸となっている。これを地域別にみると、最も多いのは南河内地域の6982戸(構成比23.4%)、次いで泉南地域5085戸(同17.1%)、泉北地域4564戸(同15.3%)の順となっており、これら南大阪3地域だけで農家数全体の過半数を占めている。

経営耕地面積規模別にみると、0.1ha以上0.3ha未満層の農家が1万5534戸(構成比52.1%)で最も多く、0.3ha以上0.5ha未満層が6977戸(構成比23.4%)となっており、農家数全体の約8割を0.1ha以上0.5ha未満層の農家が占めている。

農家を自給的農家と販売農家とに区分すると、自給的農家が1万5189戸(構成比51.0%)、販売農家は1万4612戸(同49.0%)で、販売農家を専業農家と兼業農家とに区分すると、専業農家は2161戸(構成比14.8%)、兼業農家は1万2451戸(同85.2%)である。兼業農家のうち第一種兼業農家は1673戸(同13.4%)で、第二種兼業農家は1万778戸(同86.6%)となっている。

農家人口

農家世帯員数は、13万5751人で、男性が6万5573人、女性が7万178人である。このうち販売農家世帯員数は、6万9803人で、自営農業従事者数は4万5126人(販売農家世帯員数の64.6%)である。

自営農業従事者のうち、自営農業に従事しているのが2万5265人で自営農業とその他の仕事に従事している人は、1万9861人になっている。

経営耕地面積

経営耕地面積は、1万1224haとなっている。

これを内訳別にみると、田は8734ha(構成比77.8%)、畑は1127ha(同10.0%)、樹園地は1362ha(同12.1%)となっている。

また、農家1戸当たりの経営耕地面積は、37.7aとなっている。

収穫量

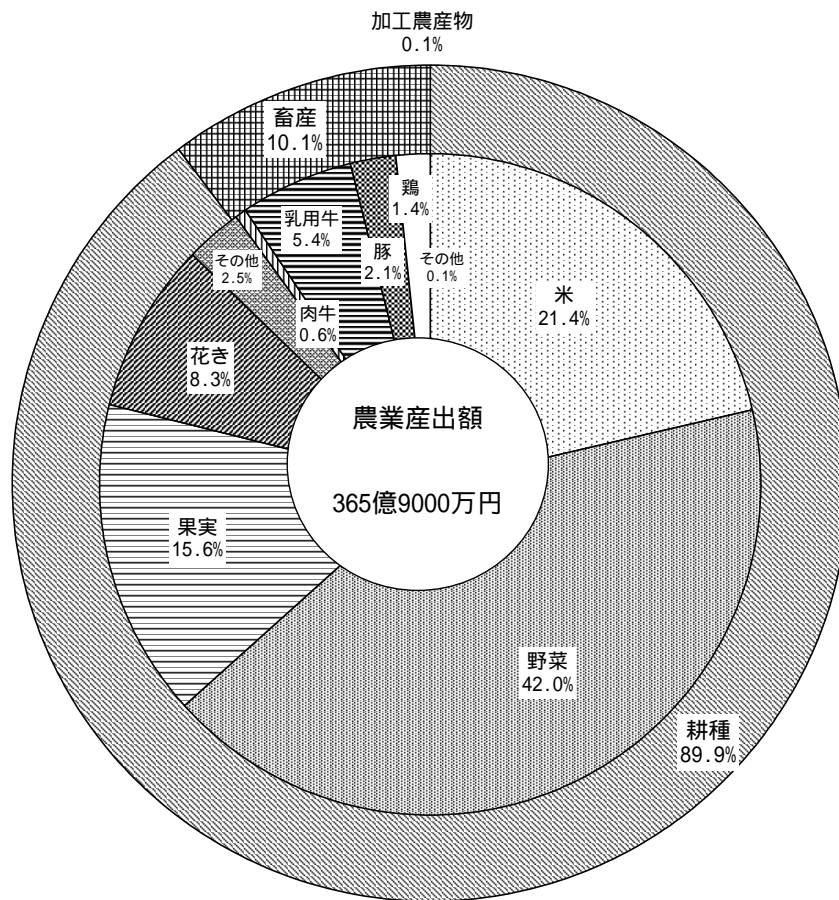
平成14年の府内の主要農作物の収穫量では、水稻が3万1400tと最も多く、温州みかん1万7700t、キャベツ1万6700t、なす8790tの順となっている。

農業産出額

平成14年の農業産出額は365億9000万円であった。

これを部門別にみると、最も多いのは野菜の153億5000万円(構成比42.0%)で、以下、米の78億2000万円(同21.4%)、果実の56億9000万円(同15.6%)、畜産の37億円(同10.1%)、花きの30億3000万円(同8.3%)の順となっている。

農 業 産 出 額 の 構 成 (平 成 14 年)



経営耕地面積規模別農家数の割合 (平 成 12 年)

